

脩身論

後篇

二

T1A1

22

(W49)

脩身論後編卷二

阿部泰藏譯

第七章

親ノ職務及ヒ其權ヲ論ス

親ノ子ニ對シテハ何ノ為メニ設ケタルモ
ノナルヤ多クノ議論ヲ待タスレテ容易ニ之ヲ
知ルヘシ

子ノ始メテ生ルニヤ成長シテ後行フヘキ職務
ヲ預メ知ルモノニアラス數年ノ後自ラ一身ヲ

養ハサルヘカラス故ニ身躰ノ強壯ヲ要ス然レ
 尺軟弱ニシテ人ノ扶助ヲ仰カサルヲ得ス其以
 面ニ幸福ノ充滿スル有ルモ之ヲ享クルニハ知
 識ナカルヘカラス然レ尺無知矇昧ナリ種々ノ
 惡事ニ誘惑セラルヘシ之ヲ拒クノ方ハ唯道ヲ
 修ムルニアリ然レ尺脩身ノ道未タ立ヌ試
 一事ヲ舉テ之ヲ云ハシ茲ニ某ノ技藝若クハ職
 業ニリル生レテ一周日或ハ一歳ノ孩兒何ヲ以
 テ之ヲ行テ一身ヲ養ヒ餓死ヲ免ル、ヲ得ン

之ニ由テ考フレハ小兒幼少ノ間ノ養育ト成長
 ノ後行フヘキ職務ノ教育トヲ要フルヲ明カナ
 リ人皆此養育ト教育トヲ受ケレ者ニシテ若レ
 之ヲ受ケサレハ今日生存スル者ナカルヘシ故
 ニ已ヨリ後ニ生ル者ニ之ヲ授ケルヲ以テ其
 職務トス

母親子ノ情狀ハ恰モ此景況ニ適當セルモノニ
 シテ親ハカテリ智アリ經驗アリテ之ヲ用テ其
 子ノ安全ヲ謀リ殊ニ之ヲ其子ノ教育ニ用ヒン
 ト欲スルノ天性ヲ備ヘ子ハ軟弱無智ニシテ事

ヲ經驗セシテナク自然ニ父ノ指揮ニ依頼信任スルノ天性アリ

是ヲ以テ親ノ職務ハ大抵教ノ一字ニ過キスニテ此職務ヲ行フニ必要ナル事ハ隨意ニ之ヲ行フノ權アリ

親ノ職務ヲ區分スルハ即チ左ノ諸件ナリ

第一 養育

親ハ其子相當ノ勉強ヲ為シテ一身ヲ養フコトヲ得ルニ至ルマテ之ニ飲食衣服ヲ給スルノ任アリ其費ノ多寡ハ親タル者之ヲ決セサルヘカラ

ス子ヲ養育スルニ奢侈ニ過キ或ハ甚ク儉薄ニ過ルハ宜シカラス親ハ亦其子ヲ保護スルノ任アリテ之カ為メニ害ヲ防キ人ノ凌辱ヲ受ケザラシムヘシ

第二 身躰ノ教育

世上迄来ニ至ルマテ身躰ノ健康強壯ノ大切ナルヲ知ル者少ナカリシハ實ニ嘆スヘキノコトナリ健康強壯ヲ得ルノ方ハ只身躰ヲ運動スルト情慾ヲ節スルト幼時ノ注意トニアリ故ニ身躰ノ教育ヲ行フテ其子ノ身躰ノ健力ヲシテ盡ク

發見セシメ之ヲ以テ艱苦ニ慣ラシ勤勞ニ堪フ
可カラシムルハ親ノ職務ナリ之ヲ行フニ欠ク
ヘカラサル注意ハ親ニ非ラスシテハ之ヲ能ク
スル者稀ナルヘシ

第三 精神ノ教育

精神ヲ有ッ者ノ樂ハ大イニ精神ノ教育ニ關係
スルヲ勿論ナレハ此ノ如キ教育ハ幼時ニ於テ
之ヲ行フヘキヲ明カナリ其故ハ此時ヲ過レハ
人各自ラ一身ノ生計ノ為メニ其時間ヲ用ヒサ
ハラ得サレハナリ

精神ノ教育ニ於テ親タル者左ノ任アリ

- 其一 親タル者力ノ及フタケ其子ノ所好トオ
幹トニ應レテ相當ノ教育ヲ授クヘシ
- 其二 事業ノ成功ヲシテ最モ十分ナラシムヘ
キ良師ヲ選ムヘシ
- 其三 師ノ能ク其職務ヲ勤ムルヤ否ヤヲ検査
シ其子ヲ鼓舞シテ學業ニ勉強セシムヘシ
- 其四 親タル者右ノ如キ職務アル片ハ之ヲ行
フカ為メ別ニ時間ヲ費ヤスノ任アリ諺ニ曰ク
人各其職務ヲ行フノ時間アリト謹テ之ヲ忘ル

ル勿レ親クル者親クルノ職務ヲ行フカ為メニ
天ノ備ヘタル時間ヲ職業若クハ歡樂等ニ用フ
ルノ權ナシ

父母其子ノ教育ニ財ヲ費ヤスヲ惜ム者アリ尤
モ異レム可キ事ナリ財ヲ積テ之ヲ其子ニ傳ヘ
ンカ為メニ自ラ情欲ヲ制シ又其子ニ教育ヲ授
タル些少ノ費ヲ惜ム者アリ縱令子孫ニ幾許ノ
産ヲ遺ス凡教育ナキ者ハ其幸福トナルヲ甚タ
疑フヘシ世間ノ人其子ニ教育ヲ授クルヲ見ル
ニ多クハ孰レノ学校モ皆一様ニレテ優劣ナク

只費ノ少ナキ者ヲ擇ムノ外別ニ議論無キ者ノ
如シ之ニ因テ數下ルラレノ金ノ為メ一其子ノ
精神ノ切瑳ト習慣トヲ決定シ甚レキハ塵敷_レセ
シトノ為メ之ヲ裁決スルヲ少ナカラス

第四 脩身ノ教育

品性ノ善惡ハ大ニ幼少ノ時脩身ノ教育ニ關
係スル者ニシテ畢生ノ苦樂モ亦之ニ因ルヲ固
ヨリ論ナシ小兒ハ脩身ノ教育ヲ教訓ト模範ト
ニ因テ其父母ヨリ受ケサルハカラス此教育ヲ
行フノ方法ニ付テ父母タル者天ノ責ヲ負フモ

ナリ故ニ父母ニ左ノ職務アリ

其一 其子ニ天ト人トニ對シテノ職務ヲ教ヘ之ヲシテ人ハ脩身ノ責ヲ負フ者ナルトヲ知ラシムハシ之ヲ行フノ方法ハ經典ノ道理ト教誡ト趣意トヲ教フルヲ專一トスヘシ

其二 幼マテ其子ノ不善ナル所好ヲ除クハ親ノ任ナリ傲慢頑固惡意猜忌報復忿怒惡言等ノ如ク不善アラハ之ヲ其初ニ察シ年齒ニ因リ或ハ姑息ノ為ニ習慣癩ヲ成シ勸カスヘカラサハニ至ラサル以前勸メテ之ヲ除クヘシ

其三 自ら善事ヲ行フテ其子ニ模範ヲ示シ其教訓ヲシテ大ニ裨益アラシムヘシ其行フ所教フル所ト反スル片ハ其子教訓ヲ輕忽ニシテ其行跡ニ倣フモノナリト知ルヘシ

其四 脩身ノ教育ニ於テモ他ノ諸事ニ於ル如ク天ノ恩惠ナキ片ハ勞シテ其功ヲカルヘシ故ニ父母一心天ノ助ニ倚賴シテ之ヲ行フノ任アリテ其子ト共ニ天ニ祈リ其助ヲ乞フヘシ

其五 子ノ品性ハ大ニ其交遊ニ關係スルカ故ニ父母常ニ之ニ注意シテ其品性ヲ模フヘキ

朋友一交ラシメ或ハ之ヲ損フヘキ地位ニ居ラシムヘカラス

其六 親ノ子ニ對シテノ間ハ排他執ノ子ニ於テモ皆一樣ナリ故ニ父母其諸子ヲ遇スル公正ニシテ偏頗無カルヘシ

親ノ權ヲ論ス

親ノ權ハ其職務ト相等シクシテ其子ノ身躰精神脩身ノ教育ヲ行フノ責ヲ負フカ如ク亦其責ヲ行フカ為メニ欠クヘカラサル身躰精神脩身ノ制御ヲ為スノ權アリ

親ハ其子ノ費用ト身躰ノ習慣ト其教育ノ處ト

方ト其受クハキ脩身ノ教育ノ種類ト其交ハキ友トヲ指揮スルノ權アルト勿論ナリ又何等ノ方法ニテモ道理ニ背クモノニ非ラサレバ之ヲ用テ其子ヲシラ己ノ意ニ從ハサルノ權アリテ審ニ利害ヲ判断シテ幹ヲ盡シテ其子ノ益トナカハク此權ヲ用ルベク親ノ任トス田親ノ權柄ヲ存スル間ハ其權柄最モ尊キカ故ニ若シ親ヲ謬誤ブル片之ヲ補ヒ救フノ方ナシ然レバ親ノ職務ト權トハ永ク存スルモノニ非

ラス
 子歳時ヲ歴ルノ間ニ自ラ一身ヲ養ヒ自ラ精神
 ヲ研キ自ラ脩身ノ職務ト任トコ決断スルヲ得
 レニ至ルヘン此ノ如クナル片ハ親ノ責ノスヲ
 以テ論アレハ親子ノ間全ク終レモノトス此時
 限ハ子ノ成人トナル時ニシテ國法ニテハ二十
 一歳ニ滿ル時ト定ムレバ事實ニ於テ之ヨリ早
 キモ、アリ或ハ遲キモノアリ
 師ノ権柄ハ父母ノ委託セン権柄ニシテ師ハ父
 母ノ對シテ責ヲ負ヒ弟子ニ對シテ責ヲ負フモノ

ニ非ラス是ヲ以テ師ノ弟子ニ於ルハ猶猶、子
 一於ルカコトク師ハ上ニメ弟子ハ下ノリ、
 職務ハ師ト父母トノ相互ヒニ約定ヒレ簡全
 ニ因テ定限アリ其權ハ常ニ其職務ト相等ヒ即
 チ委任ヲ受ケタル目的ノ達クル為メニ必要ナ
 ル權アルモノニシテ此定限ノ内ニ於テハ何事
 一クモ弟子ニ命令スルノ權アリ又弟子ハ之ニ
 役フヲ以テ職務トス

第八章

子ノ職務及ヒ其權ヲ論ス

子ノ職務ハ左ノ諸件ナリ

第一 從順即チ父母ニ命セヲレタル事ハ其當否ヲ論ヒス只其父母ノ意クルノ故ヲ以テ之ニ從フノ任アレヲ云フ獨リ本心ニ關係セル事件ハ此例ニ非ラス子タル者其父母ニ從フヨリハ寧リ父ニ從ハサルヘカラス故ニ父母ノ命ト雖モ非ナリト思フ事ヲ行フノ任ナシ然レ此ノ如キ時ニ於テモ猶父母ニ抗抵シテ之ト爭論スルハ權ノ

第二 父母ヲ尊敬スヘレ尊敬トハ下ヨリ上ニ

對ニテ當然ノ行ト感覺ト云フモノニシテ

子其父母ニ對シテハ他人ニ施サハル尊敬ヲ行フヘシ是少シモ辱トスヘキ事ニ非ラス却テ其榮ニシテ子ノ父母ヲ尊敬スルヨリ威儀アリテ礼ニ合フモノナシ佛蘭西帝ノポレラン權威盛大ノ極ニ於テ其母ヲ尊敬セシ時ノ如ク威儀アリシト無カリキ此道理ヲ推シテ考フレハ長者ハ總テ尊敬スヘキモノナルヲ知ル

第三 孝愛即チ父母ノ父母タルノ故ヲ以テ子之ニ愛スルノ情ナリ父母ハ人類タルニ因リ或

ハ其善人タルノ故ヲ以テ之ヲ愛スヘキノ理ナ
キニ非ラサレバ別ニ其父母タルノ故ヲ以テ之
ニ對シテ一種ノ愛情ヲ懷クヘキモナリ之ニ
因テ常ニ父母ニ關係スル事ハ輕率ニ之ヲ談セ
ハ其樂トナルヘキ事アラハカヨ竭レテ之ヲ求
ムハ總テ是等ノ事ヲ行フニ父母ノ父母タル
ノ故ヲ以テ之ヲ愛スルノ情ヨリ出ルヲ人ノ職
務トハ此愛情アルレバ父母ニ事フルハ何様ノ
景況ニ於テ之ヲ行フレ少シモ勞苦トナラズシ
テ却テ樂トナルヘシ

第四 父母老イテ後人ノ扶助ヲ要スルハ之
ヲ養フハ子ノ職務タリ老衰貧窮ナル父母ノ需
ニ供給スヘキ為メ甘ンレテ己ニ克テ其奢侈若
クハ便利ヲ廢セサルモノハ其恩ヲ知サルノ罪
人類ノ所行ニ非ラス
唯必要ノ扶助ノミニ非ラスシテ父母ノ貧窮ナ
ラサルモ亦子ノ之ニ對シテ行フヘキ好意懇懇
記恩ヲ表スヘキノ事數種アリテ之カ為メ大ニ
ニ父母ノ樂ヲ増シ能ク老後ノ鬱悶ヲ消スルモ
トナリ小心ニシテ仁惠從順ナル子ハ孝愛ヲ表

スル・機會ヲ求ムルヲ其樂トスヘシ
經典ニ於テ子ノ職務ヲ説クヲ叮嚀ニシテ且其
教誡人心ヲミテ感動セシムルニ是ル今一ニテ
舉テ其例トス

曰ク天ノ賜ヲ所ノ國ニ於テ汝ノ日月ノ長カラ
ニテ汝欲セハ汝ノ父母ヲ敬スヘシト聖徒ホ
リ言ヘル如ク十誡中ニ於テ特ニ約束ヲ添テ
ルハ獨リ此箇条ノミ
曰ク我子ヨ汝ノ父ノ教訓ヲ守リ汝ノ母ノ法則
ニ背ク勿レ是レ汝ノ頭上ノ美麗ナル飾ニシテ

汝ノ鎖ノ鍵ナルヘシ
曰ク賢良ナル子ハ父ノ教訓ニ従ヒ頑愚ノ者ハ
譴責スレバ聽カス
曰ク子天ニ於テ父母ニ従フヘシ是レ正シキ行
ナリト按スルニ天ニ於テトハ天ノ意ニ従フテ
ト云フノ義ナラン
曰ク子何事ニ於テモ父母ニ従フヘシ是レ天ノ
甚タ好ミスル所ナリ
天ノ誠ヲ破ル者ニ對シテ天ノ怒ヲ告ルヲ屢テ
リ左ニ其例ヲ掲ク

曰ク其父母ヲ輕シムル者ハ禍ヲ蒙ルヘシ而シテ人皆然リト謂フヘシ
曰ク愚人ハ其父ノ教訓ヲ輕シム
曰ク其父ヲ戲弄シ又其母ニ從フヲ輕蔑スルノ眼ハ幽谷ノ鳥之ヲ抉出シ鷹隼之ヲ食フヘシト是レ非命ニ死シテ其終ヲ善クセサルヘシト云フ義ナリ
右ニ引用セシ經典ノ教誡ニ由テ左ノ事件ヲ知リ得ヘシ

第一 經典ハ父母ニ從フヲ教法ノ職務ナリト

レテ之ヲ教誨ス故ニ此職務ヲ破ルルハ人ニ對シテ罪ヲ犯セル如ク亦天ニ對シテ罪ヲ犯セルモノニシテ經典ニ於テハ父母ニ從順ナラナルヲ以テ天ノ最モ惡ム所ノモノナリトス
第二 父母ニ從順ナルハ決シテ卑陋ノ所行ニ非ラズ却テ其榮ニシテ人ニ一層ノ美ヲ加フルモノナリ
第三 父母ニ從順ナラサル者ハ非常ノ罰ヲ蒙ルヘキモノニシテ古來ノ經驗ニ據ルニ幼時父母ニ不孝ナル者ハ必ス成長ノ後ニ墮リテ恥

ヲ致シ不幸ヲ招クモノナリ
子ハ父母ノ前章ニ記セシ如キ職務ヲ行ヒ最モ
其子ノ益トナルヘク其權柄ヲ用フヘキヲ期望
スルノ權アリ然レモ父母其職務ヲ欠クキハ不
孝ヲ行フテ可ナリト思フヘカラス縱令父母父
母タラスト雖モ子ノ之ヲ愛敬スルノ職務ハ天
ノ確定セルモノニシテ依然トシテ変スルコトナ
シ

子ノ權ト職務トノ存スル時間ヲ論ス

父母其子ニ代テ其行ノ責ニ任シ子ノ其父母ニ

倚賴スルノ間ノ何事ニテモ己ノ意見ヲ用ヒス
レテ父母ニ役一ヲ子ノ任トス而シテ子自ラ一
身ノ責ニ任スルニ至レハ彼順ノ任終ル然レモ
其後ニ於テモ指教ノ貴重ニシテ私無ク且ツ大
抵善良ナルコト父母ノ如キ者ナシ
父母ヲ敬シ父母ヲ愛スルノ任ハ生涯存スルモ
ノニシテ年ヲ経ルニ隨ヒ寧ロ増スコトアルモ減
スルコトナシ子ハ年ノ長スルニ隨テ次第ニ尊敬
ヲ行ヒ憐愛ヲ表スルノ力ヲ生シ父母ハ老ルニ
隨ツテ次第ニ人ノ服事ノ必要ナルヲ覺エ其樂

次第ニ之ニ關係スルニ至ル是レ幼少ノ時父母
撫育ノ恩ヲ報レ且ツ輕率剛愎ニシテ父母ヲ苦
シマシメタル罪ヲ償フノ時ナリ
師ノ弟子ニ於ルハ猶親ノ子ニ於ルカコトレト
ハ前章既ニ之ヲ載セタリ叔弟子ノ師ニ於ルハ
猶子ノ親ニ於ルカコトクニシテ父母ニ從順ナ
ルハキ道理ニ本ツキ亦其師ニ從順ナルハシ師
弟ノ間ツ存スルト否トハ父母ノ決斷ニ倚ルモ
ノニシテ其存スル間ハ從順尊敬愛情ヲ以テ弟
子ノ職務トス

第九章

人民ノ職務ヲ論ス

第一條

政府ノ本義

譬へハ茲ニ男女凡ソ二十人アリ其家族ト共ニ
無人ノ絶島ニ漂流セシキハ直ニ家ヲ造リ地ヲ
耕シ食物ヲ捕へ以テ風雨ヲ避ケ飢餓ヲ免ルハ
ノ備ヲ為サ、ルヲ得サルヘシ此ノ如クニシテ
各家ノ造築收納漁獵セシ所ノ物ハ各其所有ト
為シ可キト勿論ニシテ何人ニテモ之ヲ他人ト

貿易セシキハ貿易シテ得タル物モ亦其所有品
 タルヘシ即チ人各己ノ為メニ小字勞動シテ己ノ製
 作セシ物ヲ己ノ所有品ト為スヘシ
 各人此ノ如クニ行フテ相互ニ妨害ヲ為サレ
 レハ安樂ニ歲月ヲ送り法ヲ立テ政府ヲ設クル
 ヲ要スルヲナシ然レモ若シ何人ニテモ其行之
 ニ差ヒ或ハ隣人ノ家族ヲ追出シテ其家ヲ奪ヒ
 或ハ隣人穀物ヲ收納セシ片往テ之ヲ掠メ之ヲ
 己ノ家ニ輸送シテ隣人ノ餓死スルニ任シ他人
 亦之ヲ見テ其勞ヒスレテ生計ヲ得ルノ便利ヲ

羨シ復々其隣人ニ對シテ同様ノ事ヲ為サント
 スヘシ此ノ如クニレテ何人モ其勞動ノ報ノ享
 クルヲ能ハサル片ハ終ニ一人モ勞動スル者ヲ
 クシテ或ハ餓死シ或ハ其家ヲ去リ獨リ無人ノ
 地ニ赴キ常ニ菜野ニ住ムノ不便ヲ受クルニ至
 ルヘシ
 若シ家ヲ失ヒシ者報復ヲ謀リテ之ヲ奪ヒシ者
 ノ家ヲ燒ク片ハ雙方共ニ家ニ離レ財ヲ失ヒタ
 ルヲ以テ他ノ二家ノ所有ヲ奪フヘシ然ル片ハ
 家ヲ失ヒタル二家亦之ヲ奪ヒタル二家ヲ燒ク

警ヲ復シ此ノ如クニシテ終ニ家屋財産一モ存
スルモノナク殖民忽チ盡クルニ至ラサレハ止
ムトナカルヘシ

叔世間ニ右ノ如キ事ノ有ラサルト勿論ニ、テ
此ノ如キトハ之ヲ禁止セサルヘカラス其方法
ハ只之ヲ其初ニ於テ禁止スルニ在リ故ニ始メ
テ盜賊ヲ行フ者アハ片ハ總社中舉テ之ニ逼リ
其奪ヒタル所有ヲ本主ニ返サレメ再ヒ盜賊ヲ
行フ者アル片ハ必ラス此ノ如ク為スヘシトイ
約束ヲ定メサハク得ス然レル猶盜賊ノ絶ユサ

ル片ハ之ヲ罰スルノ法ヲ定メ其隣人ノ所有
ニ妨害ヲ為ストテ得サラレムベシ是即チ此小
社中第一ノ法ナリ
社中右ノ法ヲ立テ他人ノ所有若クハ權ニ對シ
テ妨害ヲ為ス者無カラシメントスルヲ以テ何
人ニテモ自ラ其讐ヲ報シ或ハ人ノ為メニ奪ハ
レタル者ヲカラ以テ之ヲ復セントスルヲ要セ
ス故ニ社中約束ヲ結ビ何人ニテモ人ノ為メニ
害ヲ被ハリシ片自ラ報復ヲ行ハスレテ必ス社
中ニ訴ヘ其裁判ヲ乞フヘシト定ムヘシ其故ハ

新編
卷之二
其

害ヲ被リシ人自ラ害ノ大小ト何等ノ補ノ相當ナルヤヲ決スルハ他人ノ之ヲ決スルノ公平ナルニ如カスシテ何人ニテモ己ノ事件ヲ自ラ裁判スルハ甚々宜レカラス是即チ此社中第二ノ法ナリ

然レモハ此ニ方ハ第一何人ヲ問ハス何様ノ方法ヲ論セス其隣人ノ權ヲ妨クヘカラス第二何人ノ為メニ妨ヲ受クルモ妨ヲ受ケタル者自ラ報復ニ謀ラスレテ總社中ニ訴ヘ其裁判ヲ乞フハ是ナリ

時ヲ経ルノ間妨害ノ類一チラス法モ亦隨テ數條ニ分レサルヲ得ス人其隣人ノ土地ノ侵スルアリ之ヲ補フノ法無カルヘカラス或ハ白書ニテ行フアリ或ハ夜中盜ヲ行フアリ或ハ家ヲ破ルアリ或ハ馬ヲ盜ハリ之ヲ罰スルノ法各異ナラサルヲ得ス妨害ノ報復ニ於テモ亦然リ或ハ害ヲ為セシ者ヲ打テ怨ヲ報スルアリ或ハ其家ヲ燒テ讐ヲ復スルマリ是等ノ罪惡ハ一々之ヲ區別シテ明瞭ナラシメ無罪ノ者ヲシテ有罪ノ者ト混スルコトナク有罪ノ者ヲシテ相當ノ罰

免ルハ、無カテレムハレ
社中ノ入口増シテ法ヲ立ルモ亦多カラザル
ヲ得サルニ至ルキハ事有ル毎ニ衆人盡ク集會
スルヲ能ハサルヘシ故ニ衆人ヲ命シテ其名代
トナシ之ヲシテ法ヲ立ルノ事ヲ掌ラシメサル
ヲ得ス之ニ因テ八九人ノ人共ニ謹慎賢明ノ者
一人ヲ選テ其名代ト為シ集會ニ於テ名代人ノ
同意セシ事、必ス之ヲ守ルヘシトノ約束ヲ定
ムヘシ此名代人ハ即チ司法官ニシテ其集會ハ
即チ公會ナリ

法ヲ立レ後妨害ヲ為スト屢ナルキハ雙方ノ曲
直ヲ決セヒカ為メ總社中舉テ集會スルヲ能ハ
ス故ニ數人ヲ命シテ訟ヲ聽キ國法ニ依テ之ヲ
裁決スルノ事ヲ掌ラシメサルヲ得サルヘシ此
ノ如クスレハ時ヲ費スト少ナクレテ裁判モ亦
其宜ヲ得可レ之ヲ掌ルノ人ハ即チ司法官ニシ
テ其集會スルキ之ヲ裁判所ト云フ
司法官曲直ヲ決シ惡入ノ罰ヲ定メタル後之ヲ
實地ニ施スノ人無カルヘカラス之ヲ行法官ト
名ク奉行ヒルトレステアル共ニノ類即チ

長ナリ

扱立法、司法、行政ノ三官ヲ令レテ之ヲ國ノ政府ト名ツク是等ノ官吏ハ法ヲ立テ之ヲ實地ニ施用シ國中ニ於テ一人モ其隣人ノ權ヲ妨クル者無カラレメ若シ之ヲ妨クル者アルハ之ヲシテ補ヲ為シ其罪惡ノ罰ヲ受ケンメン為メ人民ニ其職ヲ命セラレタル者ナリ

是ヲ以テ人民ノ職務ハ大抵左ノ件ヤナリ

第一 人民ハ何入タリ凡其隣人ノ權ヲ妨クヘカラストノ約束ヲ結ビタルヲ以テ自己ニ亦此

法ニ甘クハカラス他人ト相交ルノ際其身體ノ

自由、品性、評判、所有、家族ノ事ニ關係シテ人間相

互ノ職務ニ從フヘレ即チ己ノ欲スル所之ヲハ

ニ施スハキヨ云フ

第一 他人此法ニ背キテ己ヲ害スルヲアノ元

自ラ補ヲ求メスレテ之ヲ社中ニ任シ即チ約束

ノ如ク之ヲ裁判所ニ訴ヘ其裁斷ヲ乞フヘレ

第三 國法ハ總テ立法官之ヲ立ツヘントノ約

束ヲ為セシテ以テ立法官人民ノ委任ヒニ權限

ヲ用テ定メタル國法ハ總テ之ニ從ハサルヘカ

ラス

第四 人民ハ各人ヲ保護スヘシト約束ヲ結ビ
 タル社中ノ一人ナルヲ以テ人ヲ保護ヒシ為メ
 ニ必要ナル方法ヲ盡シ貴賤貧富各十分ニ其權
 ヲ用テ己ノ樂ニ供スルヲ得ヒシメ若シ他人
 ノ為メニ妨害ヲ受クル者アラハカテ極ムテ十
 分ニ其補ヲ得セシムベシ

第五 政府ノ目的ヲ達スルニハ費用ナカルヘ
 シラス行法立法司法ノ諸官皆之ニ俸祿ノ與ヘ
 サルハカラス而シテ各人政府ノ恩澤ヲ蒙ラサ

レ者ナシ故ニ其レシテ其費用ヲ出ス可シ

救ニ一例ヲ設ク上ノ諸説ヲ解明ヘベシ譬ハハ

甲、乙ノ為メニ其馬ヲ竊マシ國法無ク亦政府無
 キ片ハ自ラ行ラ馬ヲ逐サレテ乞フモヒシ之ヲ
 肯セサルヘシ若シ甲カテ以テ之ヲ復ヒレトス
 ル片ハ乙之ニ抗抵シテ若シ其力甲ヨリ強クハ
 ハ之ヲ逐ヒ之ヲ傷ケ或ハ再ヒ煩勞ヲ受ケサテ
 ニカ為メ之ヲ殺スル無キニ非ラズ此ノ如キ片
 ハ甲少シモ補ヲ得ルヲ能ハスレテ翌日ニ至リ
 乙再ヒ甲ノ牛ヲ掠メ或ハ其家ヲ奪フトアヒ

甲之ヲ避クルト欲ハサルヘシ
但ニ國法アリ政府アル片ハ雲泥ノ差ニシテ偷
盜ヲ禁スルノ法アリ人ノ偷盜ヲ行ヒタルト否
トヲ決スルノ司法官アリ賊ヲ罰シ其奪ヒタル
所有品ヲ本主ニ返スノ官吏アルヘシ
諸甲乙ノ為メニ馬ヲ竊タルハハハノ許ニ至
キ之ヲ返サントケルハスレテ執締役ノ處ニ至
リ乙ノ馬ヲ竊ミタルトテ訴ノヘシ然ルキハ執
締役即時ニ乙ヲ呼ヒ若シ乙來ルトテ肯レセサ
レバセムア市中ノ人ニ命レテ其助ヲ借リ強テ

之ヲ伴ヒ來ルノ權柄アツヘシ然ルキ甲乙各其
辞ヲ述ヘ若シ甲馬ノ己ノ物タルヲ証スルトテ
得レハ執締役之ニ馬ヲ與ヘ乙ハ詮議ノ為メ之
ヲ入牢セシメ上等ノ司法官集會セシキ近傍ノ
者十二人ヲ命ジテ立合入ト為シ乙ヲ立合人ノ
前ニ呼ヒ立合人ヲシテ証據ヲ探リ乙ノ馬ヲ竊
ミタルヤ或ハ他ノ方法ニテ之ヲ得タルヤテ詮
議セシメ立合人ハ罪ノ有無ヲ決シ司法官ハ法
ヲ按ヒテ其罰ヲ定メ若シ罪無キ片ハ之ヲ免ル
シ罪アル片ハ司法官國法ニ從テ竊盜ヲ罰シ其

罪入牢ニ當レハセムコト之ヲ入牢セシメ期限ノ満ルマニ之ヲ幽囚スヘシ

此例ニ由テ考フルハ國法アリ政府アルキハ人各公平ノ裁判ヲ得ルノ國法無ク政府無キニ比スレハ幾倍セルヲ知ラス故ニ此ノ如ク國法アル文明ノ國ニ住スルハ一大幸福ト謂フヘシ

第二條

政府ノ種類

前條ニ於テ記載セシ政府ハ入選政府ト名ツル者一トテ諸官或ハ人民ノ選舉ニ依テ之ヲ命

シ或ハ人民ノ選舉ヲ受ケタル者人ヲ選ビテ之ニ任ス我合衆國ニ於テ立法官奉行大統領等ハ人民ノ選舉ニレテ司法官及ヒ他ノ官吏ハ或ハ人民ノ選舉ニ依テ之ニ任スルアリ或ハ立法官之ヲ命スルアリ

然レモ政府盡ク人選ニ非ラス亦世襲政府ト名ツクルアリ子孫父祖ノ職ヲ襲フ者是ナリ此種類ノ政府ニ於テハ王死スルキハ其子代テ王トナリ其家屋田地ヲ承クル如ク亦其職ヲ襲キ若シ父立法官タルキハ其子亦父ノ職ヲ襲テ立法

官トナル

是等ノ外別ニ政府ノ種類ヲ分テ立君政府、貴族政府、共和政府トス

立君政府トハ王ト號スル者一人ニテ大權ヲ握ル者ニシテ若シ人ヲ選テ王ト為ルハ之ヲ人選立君ノ政府ト名ツケ子孫父祖ノ職ヲ襲テ王トナルハ之ヲ世襲立君ノ政府ト名ツク
立君政府ニ於テ王己ノ隨意ニ法ヲ立テ己ノ隨意ニ人民ノ生命、所有ヲ覆置レテ何人モ之ヲ制御セザルヲテ、テリ之ヲ獨裁立君ノ政府ト名ツク

ク又國ニ一定ノ法則アリテ王之ヲ犯ス下獄ハサルセノアリ即チ河等ノ法ヲ立ルハ先ツ別人ノ同意ノ得ルニ非ラサレハ己之ヲ專ラニスルコト獄ハサルモノ是ナリ之ヲ定律立君ノ政府ト名ツク

貴族政府トハ數人ノ貴族國ノ全權ヲ握ルモノ是ナリ此政府ハ大抵世襲ニシテ若シ然ラザレハ政府ニ欠負アルハ貴族中ノ人ヲ選テ其職ニ任ス

共和政府トハ前ニ記載セシ如キモノニレテ諸

官或ハ人民ノ選舉ニ依テ之ニ任レ或ハ人民ノ
選舉ヲ受ケタル者人ヲ選テ之ニ任ス
是等ノ政府ノ種類ハ純一ナルモノアリ或ハ混
合セルモノアリ

魯西亞ノ政府ハ純一ノ立君政府ニシテ帝ノ共
ニ事ヲ議スル所ノ者ハ唯己ノ命シタル評議人
ノシニシテ限ナト權柄ヲ有スルモノナリ

英國ノ政府ハ混合ノ立君政府ニシテ王ト上院
ト下院トノ三部ヲ合セタルモノナリ
王ノ職ハ世襲ニシテ王ハ國中ノ首長ナリ

上院即チ貴族ハ立法官ノ第二部ニシテ其職亦
世襲ナリ初ハ王ヨリ命セラレト雖ヘ度
貴族トナルハ子孫相襲ヲ永ク之ヲ失フテ無
レ立法官ノ第三部ハ下院ナリ下院ハ共和政府
ニ於ルカ如ク人民ノ選舉ニ依テ之ヲ命スルモ
ノニシテ總テ英國ノ法律ハ王上院下院ノ三部
盡ク同意スルニ非ラサレハ之ヲ立ルテ能ハス
何等ノ政府ニシテモ官吏有徳ノ人ニシテ心ヲ用
テ國人ノ安全ヲ謀ル其國太平安穩ニシテ
人々其樂ヲ樂ムトヲ得可シ然レバ是等ノ政府

ノ中ニ於テ官吏不善ニレテ殘忍暴虐ナルハハ
變革ヲ行ヒ内亂ヲ起スニ非ラザレハ其權柄ヲ
制御スルノ術無キモノアリ然ルニ人選政府ニ
於テハ權柄人民ノ手ニ在テ政府ノ暴虐ニ苦レ
ハノ危險無レ又人民互ニ相害スルヲ以テ其危
險トスルノミ然レモ此危險ハ尋常世人ノ思想
スルヨリ甚タ大イナルモノナリ

第三條

合衆國ノ政府

合衆國ハ其初歐羅巴ヨリ居テ移レメイス州ト

シヨルジア州トノ間ノ大西洋ノ岸ニ上陸セル人
民ノ殖民セルモノニシテ就中英國ヨリ移レル
者最モ多レ是等ノ移民其居ヲ定ムルニ至テ各
政府ヲ設ケ其數ノ増ハニ及テ境界ヲ定メ數政
府ニ分レテ全海岸ヲ領セリ然レモ皆英王ヨリ
免狀ヲ受テ其附屬タラサル者ナク奉行ハ大抵
英王ノ命セル所ニレテ司法官等モ亦之ニ因テ
命セラレシ者少ナカラス

移民ノ權柄強大ナルニ及テ本國ト隙ヲ生シ終
ニ亞墨利加革命ノ亂トナリテ永夕英國ノ管轄

テ離レ萬國ノ許ヲ受テ其善トスル所ノ道理ニ本
ツキ其好ム所ノ方法ヲ以テ別ニ政府ヲ立ルノ
自由ヲ得タリ
革命ノ亂終テ後直ニ政府ヲ立シカ為メ諸州ヨ
リ名代入ヲ出シ一千七百八十七年九月十七日
政體一決シテ之ヲ諸州ニ示シ其允許ヲ乞ヒシ
カ終ニ諸州盡ク之ヲ允許ヒリ是即チ方令我國
ノ政府ナリ
此政府ノ大略ハ即チ左ノ如シ
各州英國ノ管轄ヲ離レキ大政府ニ委任セシ

權柄ノ外總テ役前ノ權柄ヲ保チ其官吏ヲ命
其法ヲ立テ其罪人ヲ罰シ總テ全國ニ關係スル
事ニ非ラサレハ之ヲ專ラニスルノ權柄アリ
但シ一州ノ安全ニ關係セハ廣ク全國ノ安全ニ
關係スル事シ大政府ノ任ナリ然レハ大政府ノ
權柄モ政體ニ因テ限アリテ之ヲ踰ユルヲ能ハ
ス
合衆國政府ノ首長ヲ大統領ト名ツク其在職四
年ヲ限トシ諸州ノ人民若クハ立法官ノ選
ル選舉官賢ヲ選テ之ヲ命ス

合衆國ノ立法官ハ分テ上院下院ノ二部トス
 上院ノ議員ハ一州毎ニ二人ヲ出シテ在職六年
 ヲ限トシ州ノ立法官ハヲ選テ之ヲ命ス
 下院ノ議員ハ諸州ノ人民ノ選舉ニシテ毎七
 零六百八十人中ヨリ一人ヲ出シ在職二年ヲ限
 トス總テ合衆國ニ於テハ大統領ト上下兩院ト
 ノ先許ヲ受ケサレハ國法ヲ立ルヲ能ハス但レ
 兩院ノ議員同意スル者三方ノ二ナレハ大統領
 之ヲ拒テ同意セスト雖モ立テ國法トスルヲ
 得

大統領ト上院トハ外國ト盟ヲ結ヒ又合衆國裁
 判所ノ司法官外國使節海陸軍ノ士官等ノ如キ
 大官ヲ命スルノ權柄アリ
 合衆國裁判所ノ司法官ハ總テ合衆國ノ法ヲ犯
 セル事件此州ノ人民ト彼州ノ人民トノ訟及ヒ
 合衆國ノ人民ト外國人トノ間ニ起レル争ヲ詮
 議スルノ權柄アリ諸州ノ法ヲ犯セル罪ハ本州
 ノ司法官之ヲ詮議シ每州奉行ト一部若クハ二
 部ノ立法官アリテ其政體ヲ供ヘ其法ヲ定メ其
 官吏ヲ命シ總テ其州ノ安全ニ必要ナル事ハ之

ヲ行フノ權柄アリ

仁惠ノ職務ヲ論ス

第一章

仁惠ヲ論ス

是マテ論シタル職務ハ人間相互ノ職務ニ由テ
 人ノ之ヲ他人ニ行フヘキ者ニ他人ヨリ之ヲ
 要スルノ權アリ即チ己ノ隨意ニ其樂ヲ求ムル
 他他人ノ隨意ニ其樂ヲ求ムルヲ妨クヘカ
 ラサルノ職務是ナリ
 人只此職務ヲ守テ他人ノ妨ク為サズルノミセ
 雖モ方今ノ景況ニ比スレハ世上大イニ安樂ニ

シテ絶テ暴虐、盜賊、讒言等々如キ人ノ害トナル
 ベキコトナク人々平和安穩ニ歲月ヲ送ルコトヲ得
 ヘレ
 然レモ世上ノレテ十分ニ安樂ナラシムルハ
 他人ノ妨ヲ為サ、ルノ外猶欠クヘカヲナルノ
 職務アリ即チ皆他人ノ事ニ關係シテ其妨害ヲ
 為サ、ルノミナラス亦之ニ對シテ善事ヲ行フ
 ヘシ之ヲ仁惠ノ定則トス
 夫レ人ハ時トレテ病ヲ受クルノ恐アラサル者
 ナク或ハ多病ニシテ常ニ健康ノ日ナキ者アリ

テ病中ハ勞働^{オボウ}シテ衣食ヲ得ルコト能ハス甚タレ
 キハ自ラ起居スルコト能ハサルニ至ルアリ
 若シ然ル片人^{ヒト}之ヲ扶ケサレハ病人必ス死ニ至
 ルヘシ且人ハ偶然ノ災害ニ遭コトアリ之ヲ助
 ル者ナキキハ艱難ヲ免ルコト能ハス譬ヘハ途
 上ニ於テ小女ノ車ニ轢^キラレタルヲ見レバ己レ
 其恩ヲ受ケタルコトナキヲ以テ己レノ職業ヲ務
 メレカ為メ其死ニ至ルヲ願ヒサルハ實一大惡
 ニシテ人以前ニ此小女ヲ見シコトナク以後亦之
 ニ逢フコトナルヘレト雖モ力ヲ盡シテ之ヲ救

フノ任アルヲ覺ユ是即チ人ハ仁惠ヲ行フヘキ
ノ任アルヲ覺ユルナリ

又茲ニ童子數人アリ書ヲ讀ミ字ヲ寫スヲ解
セシテ人ニ裨益アルノ書ヲ讀ムノ樂ヲ享ク
ルヲ能ハス諸其近隣ニ二人ノ少年アリテ一人
ハ童子ニ報スヘキノ恩ナキヲ以テ己ノ職業ヲ
務ムルニ如スト謂テ之ヲ顧ミス一人ハ童子ニ
恩ヲ受ケタルト誓トヲ論セズ之ヲ集メテ讀書
寫字、算術ヲ教ヘ後來世間ニ有用ノ人タラシメ
ニシハハハハニ人ノ中孰カ最モ優スヘキヤ孰

レカ其職務ヲ行ヒタルヤ孰レカ天ノ意ニ合フ
ト称スヘキヤ

又是等ノ童子大惡ニシテ摎ヲ為シ虚誕ヲ吐キ
偷盜ヲ行フキハ善人其所行ヲ身聞シテ大ニニ
之ヲ悲ムヘレ其中最モ兇惡ニシテ最モ長大ニ
ル者ハ之ヲ罰フルヲ以テ其職務トスルノ外別
ニ他ノ方無カルヘシ諸二人ノ中一人ノ曰ク此
ノ如キ所行ヲ制止スルハ我人民タルノ職務ナ
リ依ニ是等ノ童子ヲシテ獄ニ下ラシムヘシ然
レモ其他ハ我關係スル事ニ非ラス若シ童子等

過ヲ改メスレテ終ニ身ヲビスニ至テハ自ラ招
ク所ナリト然ルニ一人ハ行テ之ニ其所行ノ不
善ナルトヲ示シ親切ニ教諭シテ之ヲ善ニ導キ
盡ク善良ノ童子タラシムルハ二人ノ中孰レ
ト最モ好ニスヘキヤ孰カ是等ノ童子ニ對シテ
其職務ヲ行ヒタルヤ孰カ天ノ意ニ從フト謂フ
ヘキヤ

又是等ノ童子人ヲ輕侮シ其所有ヲ偷シ其人
之ヲ教戒セシトスルモ却テ之ヲ嘲笑シ多方
其害トナルヘキト行フモ去テ之ヲ顧ミス

コテ凡ク我彼等ヲ教ヘテ徳ニ進ミ樂ヲ享ケ
メレカ為ニ自ラ錢ヲ費ヤレ報ヲ受ケスニテ未
レリ然ルニ却テ彼等ノ為メニ害ヲ被リ辱ノ受
ケ物ヲ失フ我去テ彼等ノ身ヲ込スニ任スヘ
ト或ハ曰ク我彼等ノ我ヲ遇スル何様ナルヲ問
ハテカヲ盡シテ其益トナルヘキト行フハ
彼等ノ我ニ對シテ愈惡事ヲ行フキハ彼等ノ教
諭ヲ要マルト愈明カニシテ我愈カク盡シテ
善ニ導クハシ彼等益我ヲ憎マハ我益彼等ヲ
愛ス可シト此兩様ノ所行孰レカ最モ愛スヘキ

ヤ人孰ノ所行ヲ為スヲ以テ其人物ノ重シムハ
キヤ孰カ人ノ職務ニ合ヘルヤ孰ク能ク聖人ノ
模範ニ似タルヤ

諸是等ノ例ヲ以テ考フレハ人ハ不幸ノ人不善
ノ人及ヒ己ヲ害スルノ人ト雖モ之ニ對シテ仁
惠ヲ行フノ任アルヲ覺ユルヲ知ルヘシ
人ノ仁惠ヲ行フノ任アルトハ古書一載スル所
ノ聖人ノ教ヲ見レハ明カナリ
曰ク汝ヲ愛スル者ヲ愛スルハ恩ニ非ラス其故
罪人ト亦己レヲ愛スル者ヲ愛スレハトナリ汝

ヲ惠ム者ヲ惠ムハ恩ニ非ラス其故ハ罪人ト亦
之ヲ行ヘハナリ受クルノ望アル者ニ貸スルハ恩
ニ非ラス其故ハ罪人ト亦再ヒ受クルノ望ヲ以
テ罪人ニ貸シハナリ汝須フク汝ヲ憎ム者ニ愛
シ報フ望マシテ仁惠ヲ施シ物ヲ貸スヘシ然
レモハ其賞大イニシテ汝ヲ天ノ子ト称スヘシ
其故ハ天ハ恩ヲ知ラサル者及ヒ惡人ト雖モ之
ニ對シテ親切ナレハナリ故ニ汝天ニ擬ヒ務メ
テ慈悲ヲ行フヘシト
又一本一曰ク汝天ノ子者天ニ擬フタラシムヲ欲

セハ汝ノ敵ヲ愛シ汝ヲ咒詛スル者ノ福ヲ願ヒ
 汝ヲ憎ム者ヲ惠シ汝ヲ凌辱スル者ノ為メニ祈
 禱スハ其故ハ天ハ善人惡人ノ別ナク太陽ヲ
 レテ之ヲ照サシメ正人ト不正人トヲ論セム兩
 ヲレテ之ヲ露サレムレハナリ
 慈悲トハ人間相互ノ職務ニ由テ我ニ要スルノ
 權ニ我ニ施セバ其報ヲ受クルノ望ヲキ者
 ノ樂ニ達セムハナリ
 仁惠ニ行フノ方法ハ天ノ模範ニ倣フヘシ
 之ニ由テ考ヘバ左ノ諸件各昭ナリ

第一 夫レ天ハ其造リタル萬物ニ對シテ一毫
 ノ任ナレト雖凡之ニ樂ヲ與フルノ無盡藏ナリ
 故ニ人其才賦所有ヲ用テ他人ノ樂ヲ達セシメ
 サルヘカラス總テ天ノ人ニ賜ノ所ノ物ハ之ヲ
 用ニ直ニ己レノ樂ヲ得セシメンカ為メニ非ラ
 ス人ヲ樂マシメテ己レノ樂ヲ得セシメンカ為
 メナリ
 第二 天普通ノ幸福ヲ與フルニ之ヲ受クル者
 ノ人物ヲ論スルナク兩ヲレテ正人ト不正人
 トノ別ナク之ヲ露サシム人モ亦此模範ニ倣ハ

ナルヘカラス夫レ人物ヲ總ヒ德行ヲ尚ムハ人
ヲ擇マサルヘカラスト雖ヘ凡慈悲ニ於テ公之
ヲ要スル者アルハ其人物ヲ論ヒス之ニ施ス
ヘン故ニ艱難ヲ救ヒ禍災ヲ憐ミ貧窮ヲ濟ヒ疾
病ヲ扶ケ無知ヲ教ヘテ其人物ノ賤ムヘク憎ム
ヘキモ措テ之ヲ論スル勿レ

第一 天ノ摸範ニ由テ考フレハ人ノ仁惠ヲ施
スハ之ヲ受クル者何様ノ感覺ヲ懐ク凡之ニ關
係スヘカラサルヲ知ルヘレ古昔人類ノ天ノ罪
人タリシ時ト雖凡天猶棄スレテ之ヲ救ヘリ我

聖人モ亦人ノ暴雲毒惡ヲ受ケタレ凡志ヲ移サ
ス之ニ仁惠ヲ施シテ其生涯ヲ終レリ故ニ人已
ヲ呪詛スル者ノ福ヲ願ヒ己ヲ憎ム者ヲ惠ミ己
ヲ凌雲スル者ノ為メニ祈禱セサルヘカラス
天ノ摸範ノ外ニ人ノ仁惠ヲ行フヘキノ道理猶
數種アリ左ニ其一ニテ掲ク
第一 天人ノ仁惠ヲ行フヲ以テ其天ニ對シテ
犯セル罪ヲ免ルヌノ箇條トセリ曰ク汝人ノ罪
ヲ恕セザレハ天亦汝ノ罪ヲ恕セサルヘシト
第二 人ノ己ヲ遇スル不善ナルカ為メニ顯ハ

レ、所ノ徳ハ人物ノ最モ高キヲ表シ人ノ天上
ニ昇ルヲ得ルニ最モ欠クヘカラサルモノナ
リ即チ溫柔堪忍寛恕等ニシテ此ノ如キ徳ハ天
ト持テ幸福ヲ賜フ所ノモノナリ
人カヲ以テ報スルヲ得ル所ノ徳ハ人ヲ愛シ
人ヲ畏ル、ノ念ヨリ起ルヲアリ實ニ天ヲ愛シ
天ニ從フノ証據ハ人ノ報スルヲ能ハサル徳ヲ
行フニ在リ故ニ是等ノ徳ヲ以テ真ノ信心ノ証
據トス聖人曰ク汝小人ニ對シテ慈悲ヲ行ヒタ
ルハ即チ我ニ對シテ行ヒタルナリト

仁惠ノ定則ハ普ク人類ニ及ブモノニシテ親族
ト他人トノ別ナク國人ト外國人トヲ論セス耶
蘇教徒ト異教ノ徒トヲ問ハス只其人類タルヲ
以テ仁惠ヲ受クルニ足レリトス是天ノ定則ヲ
リ持リ然ルノミナラス或ハ疎遠ノ人ニ對シテ
仁惠ヲ施スヲ以テ更ニ榮トスルノ理アリ其故
ハ疎遠ノ人ニ對シテ仁惠ヲ行フ所ハ報ヲ得ル
ノ望最モ少ナクシテ己ノ私意ナキヲ分明ナシ
ハナリ

英國ノホフルド氏ハ其國中ノ獄ヲ巡察セシメ

ト雖ハ既ニ美事トスルニ足レリ然ルニ猶
 其敵國佛蘭西ノ獄ニ至ルマテ曠ク之ヲ巡察セ
 シヲ以テ更ニ一層ノ美事トス且其本國ニ於テ
 仁惠ノ為メニ死スルニ榮トスルニ足レリ然
 ニ猶遠ク魯西亞國ノ僻邑ニ於テ死メンヲ以テ
 其榮更ニ幾倍セルヲ知ラス其地ハ元來無名ノ
 一小邑ナレバホソド氏仁惠ノ為メニ死シテ
 永ク骨ヲ埋メタルノ故ヲ以テ其名令ニ於テ猶
 世間ニ流布セリ 言レバホソドハ英國ノ人ニシテ
 紀元一千七百五十六年葡荷
 牙國ノ大地震ニ遭ヒレ者ヲ救ハシメ其都
 市ヲ救ハシメ其頃英佛ノ間ニ戰事

アリテホソドノ船途中ニ於テ例人ノ為メニ
 獲ラレ獄中ニ在テ親シク其辛苦ヲ嘗メ歎サレ
 ラ本國ニ歸リシ後罪人ノ不幸ヲ憐ミ苦心焦思
 テ本國中ノ獄ヲ改革シテ他ノ諸國ニ及ボレ
 終ニ魯西亞ノ獄ヲ速ク亞西亞諸國ノ獄ヲ
 巡察セシトシ其カ魯西亞國ノ獄ノ刑ヲ
 リン邑ニ至テ熱病ヲ患フ罪人ヲ訪ヒ其病ニ
 染ラ死セリ時ニ千七百九十一年ナリ今ニ於テ
 ロンドンノイニトボト云フ科堂ニ
 衆人ノ資ヲ捐テ造リタルホソドノ像アリ
 人タル者仁惠ヲ行フノ任アルヲ以テ推ス片ハ
 萬國ノ交際ニ於テモ亦同様ノ任アラサルノ理
 ナシ予ノ意見ニ依レハ萬國ノ仁惠ニ本テ互ニ
 ニ相交ルノ任アルヲ各箇ノ人ト異ナルヲシ
 即チ天ノ與ヘタルカラ盡シテ互ニ仁惠ヲ施

スヲ以テ交法ノ本ト為スヘキヲ云フ
次ノ章ニ於テ不幸ノ人不幸ノ人及ヒ己ヲ害ス
ル人ニ對シテノ仁惠ヲ論スヘシ

第二章

第一條

窮迫ノ人ニ對シテノ仁惠

人ノ貧窮、疾病、老衰、無知、為メ、窮迫奈何ント
テス、カヲサルコトアリ
單ニ貧窮ナルノミナレハ勞動スルコトカアルノ
間ハ大抵之ヲ救フコト要セス其衣食ナキハ宜シ

自ラ勞動シテ得ヘシ此ノ如キキニ於テ
入ノ行フヘキ職務ハ之ニ産業ヲ授ケ自ラ一身
ヲ養フコトヲ得セシムルニ在リ懶惰ノ人ヲ扶テ
遊食スルコトヲ得セシムルハ其人ニ對シテ社
中ニ對シテモ決シテ仁惠ニ非ラス是天ノ仁惠
ノ趣意ナリ夫レ天ハ萬民ニ飲食ヲ與ヘテ一身
ヲ養フコトヲ得セシムルト雖ヘモ只勞動ノ効ニ
因テ之ヲ得ヘカラシム亦聖徒ボールモ人若シ
勞動セシムルハ當ニ食テナカルヘシト言ヘリ
第一 前條ノ如シト雖モ又一概ニ此例ヲ以テ

推スヘカラサルコアリ人天災ニ因テ産業ノ方
ヲ失フコアリ譬ヘハ破船火災洪水若シクハ製
造ノ盛ナル地ニ於テ職業ナキ時ノ如キ是ナリ
事實自己ノ懶惰ヨリ起リタルニ非ラスニ天
災ノ為メニ窮迫ニ至ルキハ速テ救フヘシ親ノ
勞動ヲ以テ其子ヲ養フニ力足ラサルモ亦然リ
其夫ニ死別シタル寡婦ノ數多ノ小兒ヲ養育ス
ル所屢此事アリ又更ニ憐ムヘキハ小兒其両親
ヲ込ヒシ片是ナリ此ノ如キ片若シ人ノ仁惠ヲ
施シテ之ヲ救フニ非ラスニハ死凶ヲ免死ハ

能ハサルヘシ

第二 疾病 入疾病アルキハ平常ヨリモ衣食
ノ安樂ヲ要スレバ自ラ勞動スルノ力ナシ若シ
之ヲ扶ル者ナキ片ハ富人ト雖ヘバ艱難ヲ免レ
ス况ヤ貧者ニ於テラヤ此ノ如キ片ハ常ニ金錢
ヲ與ヘテ之ヲ救フノミナラス自ラ看病ニテ病
入ラ慰ムヘシ
第三 老年 老年ハ必スシモ疾病ノ患アルニ
非ラサレバ大抵老衰シテ寂寞無聊ニ苦レハ
少ナカラスカヲ盡シテ其憂悶ヲ慰メ其勞苦ヲ

扶クルハ仁惠ノ職務ニシテ孝愛ノ一種ト称ス
ヘレ

右ハ此條ニ於テ仁惠ヲ施スヘキ箇條ニシテ之
ヲ施スノ規則ハ即チ左ノ如シ

第一 貧人ノ疾病若クハ老年ノ為メニ少シモ
活動スルヲ能ハサル者ハ全ク之ヲ扶助スヘレ

第二 貧人ノ疾病老年若クハ孤獨ノ為メニ一
身ヲ養フノ力足ラサルキハ之ヲ助ケテ其不足
ヲ補フヘレ

第三 眼前職業ヲ得ルノ方ナキ者ハ一時其急

ヲ救フテ然ル後之ニ職業ヲ授クヘレ人ヲシテ
自ラ一身ヲ養フヲ得セシムルハ仁惠ノ最チ
大イナルモノナリ

第四 貧人ヲシテ獲ル所ノ些少ノ金錢ヲ蓄積
セシムルノ方ヲ設クルハ大イナル仁惠ナリ譬

ヘハ積金所ノ如キ者是ナリ是等ハ職業ヲ尅ム
ル者ヲシテ獨立自主ヲ得セシムルノ良方ニシ
テ之カ為メニ家産ヲ起セシ者甚々多シ

仁惠ヲ施ス者ニ於テ左ノ如キ注意スヘキ事件
アリ

第一 仁惠ノ職務ハ天ノ萬民ニ賦スル所ノモ
 ノニシテ入盡ク他人ニ金錢ヲ施ス可_レ能ハスト
 雖ヘモ別ニ手段ヲ用テ艱難ヲ扶ケ禍災ヲ憐ム
 ノ方イラサ茲_レナク童子モ亦成人ノ如ク仁惠
 ヲ施ス可_レ得可_レ若シ童子玩具ヲ買フヘキ錢
 ノ半ヲ以テ病人ノ為_レニ食物ヲ買ヒ或ハ貧窮
 ニル隣人ト其樂ヲ共ニスルハ徳ニ進ムノ最モ
 良方ナラン

第二 仁惠ヲ行フノ方ハ艱難ヲ受ル者ヲ親レ
 ク目撃セラ自ラ之ヲ救フヲ宜シトス他人ニ物

ヲ與ヘテ之ヲ施サシムルモ全ク施リ、ルニハ
 勝レリト雖ヘモ自ラ施スニ及ハサル_レ遠クニ
 テ人ノ心ヲ修メ人ヲノ天ノ恩ヲ感セシムルハ
 親レク他人ノ艱難ヲ目撃スルニ如クモノナレ
 第三 人ニ物ヲ施スハ祈禱ノ如ク教法ノ職務
 ナルヲ以テ務メテ之ヲ秘密ニスベシ夫レ天ハ
 隱微ヲ照レテ人陰徳ヲ行ヘハ必ラス之ニ陽報
 コ與フヘシ

教育ノ事

凡_レ人トシテ讀書寫字算術ヲ能クセザルハ其

大不幸ナルヲ知ラサルヘカラス此ノ如キ人
ハ知識ヲ博ムルノ手段ナクシテ天ノ教誡ヲ知
ルヲ能ハサルノミナラス朋友ノ贈リタル書翰
スラ猶讀ムヲ能ハス若シ知識アルノ人之ヲ教
導ヤハ天甚々之ヲ喜ニスヘシ
我合衆國ノ都邑ニ於テハ天抵休日學校ノ設
リ是レ無知ヲ教導スルノ良方ナリ少年ノ仁惠
ヲ務メ天ニ從ハント欲スル者ハカヲ盡シテ之
ヲ助クヘシ小兒ヲシテ無知不善ニ陥ルヲ免レ
シムルハ實ニ大ナル仁惠ト謂フヘシ

且是等ノ學校アルハ人ニ學藝ヲ授クルノ
ニ非ラス亦其靈魂ヲ救フヘキ教法ヲ教フル
ヲ得可シ少年ノ人其天ヨリ受ケタル恩惠ヲ他
人ニ授ケテ天ニ謝スルノ意ヲ表スルハ天ノ最
モ悦フ所ナリ

第二條

惡人ニ對シテノ仁惠

前條ハ只不幸ノ人ニ對シテノ職務ヲ論セリ今
此條ニ於テハ惡人ニ對シテノ職務ヲ論スベシ
疾病老年若クハ貧窮ノ為メニ不幸ノ者アルハ

之ヲ救フノ職務タルハ上ニ記セシカ如シ夫
レ最モ憐ム可キ者ハ罪ヲ天ニ得ルニ在リ故ニ
惡人ハ不幸ノ最モ甚タシキモノニシテ且ツ他
人ヲ誘フテ之ヲ同惡ニ陷ラシムルヲ譬ヘハ傳
染病ヲ患フル者ノ害ヲ衆人ニ及ホスカ如シ如
シ今^ニ生ノ苦勞ハ死シテ休ムト雖^モ凡^ソ罪ヲ天ニ得
タル苦痛ハ死後愈^ニ甚タシクシテ永ク之ヲ救フ
ノ方ナ^ラズ
之ニ由ラ考フレハ惡人ハ就中憐ムヘキ者ナル
ヲ知ル、レ故ニ之ヲ導テ善ニ進マシメントス

ルハ特ニ人ノ職務ナリ
惡人ハ之ヲ避ケテ近ツクヘカラスト言フ者アリ
リ其言一理ナキニ非ラス人惡人ト交ルヘカ
ス其惡習ニ染ムヘカラスト醉入ト共ニ飲ムヘカ
ラス天ヲ汚ス者ト親レクスヘカラスト然リト雖
ヘ此故ヲ以テ醉人ヲ諫メテ酒ヲ禁セシメ天
ヲ汚ス者ヲ教ヘテ擔ヲ畏レシメントスルヲ不
可ナリト為スヘカラスト朋友ト為テ交ルト仁惠
ヲ施ストハ其間自ラ別アリ
人ノ惡人ニ對シテ行フヘキ職務ハ左ノ如シ

第一 惡人ノ禍災艱難ヲ受クル片之ヲ憐ムハ
ヤリ善人ト同様ナリト思フヘシ惡人ヲ救フテ
善人ヲ救ヘル如ク心ニ樂ヲ覺ユヘキ事ハ難シ
ト雖ヘ氏之ヲ以テ惡人ヲ救フハ善人ヲ救フト
同様ノ職務ニ非ラスト為スヘカラス
第二 カヲ盡シテ其不善ヲ改メ善ニ進マレム
ヘシ

其方左ノ如シ

其一 模範 自ラ善ヲ行フテ之ニ示スハ惡人

ヲ諫ムルノ最モ親切ニシテ最モ良方ナリ故ニ

之ト共ニ居ル片ハ己ノ善ニ與ミシテ不善ノ

ムトヲ示シ縱令彼等ノ我ヲ嘲笑厭惡フルコト

ルモ猶彼等ヲ愛スルノ念ヲ以テ之ヲフヘシ

其二 教諭 適宜ノ談話ヲ以テ其所行ノ惡

キヲ窺ラシメ之ヲ勸勵シテ善ニ及ラシムハ

シ此ノ如キコトハ大抵私ニ之ヲ行ノヲ以テ其功

多シトス

第三 人ヲ善ニタラシムルハ教法ニ如ク者ナ

シ故ニ談話ヲ以テ之ヲ世人ニ知ラシムルノミ

ニシテ亦カヲ盡シテ教法ノ書ヲ世上ニ廣ムハ

第四 四海ノ内皆兄弟ニシテ人々脩身ノ方ニ
於テ人ノ教ヲ要セサル者ナシ故ニ廣ク惡人ヲ
教化スルハ人ノ欠クヘカラスル職務ナルヲ分
明ナリ夫レ天下ノ人永世ノ幸福ヲ得可キノ方
ヲ知ラサル者多シ是ヲ以テ何レノ地ニテモ教
法ノ書ナキ處アラバ必ラス之ヲ贈ルヘシ
第五 人心暗愚ニシテ非ヲ改ムルヲ甚々難シ
若シ天ノ助ナキ片ハ之ヲ教化セントスル凡功
ヲ奏スルノ望ナカルヘシ夫レ天ハ祈禱ヲレハ

其助ヲ假スモノナリ故ニ世ニ仁惠ヲ施サシム
スル者ハ天ニ祈禱シテ其助ヲ乞フヲ亦アクハ
カラサルノ職務ナリ

第三條

己ヲ害スル者ニ對シテノ仁惠

茲ニ人アリ帝ニ惡一ヲ行フノミナラス亦我ニ
害ヲ加ヘタル片ハ之ニ對シテ行フハキ職務如
何

第一 所作ノ不善ナルハ我ニ對シテ行ヒレ片
モ他人ニ對シテ行ヒンキノ如ク之ヲ憎ムヘシ

人ハ何様ノ景況ニ於テモ善ヲ愛シ不善ヲ憎ム
セムヘカラス

第二 前條ノ如シト雖ヘ凡其人ニ於テハ惡人
タルヲ以テ其不幸トナシ憐テ之ヲ教化スヘシ

第三 我ニ加ヘタル善ヲ寛恕スルハ我職務ニ
シテ殊ニ聖人ノ命セシ所ナリ曰ク汝入ノ罪ヲ
恕セサハ天亦汝ノ罪ヲ恕セサル可シト故ニ
人永世ノ幸福ヲ得ルノ望ハ只此命ニ從フニ在

第四 我善ヲ被ムヲタルハ善良ノ模範ヲ示シ

テ害ノ為セシ者ニ仁惠ヲ施スヘキ好機會ナリ

故ニ善ヲ行フテ其惡ニ克ツノ我職務トス聖人

ヨク汝ヲ呪詛スル者ノ福ヲ願ヒ汝ヲ憎ム者ヲ

惠ミ汝ヲ凌虐スル者ノ為メニ祈祷スヘシト

此ノ如キ方ヲ以テ難ヲ定ムルハ報復ヲ行フニ

勝ルヲ數倍ニシテ此方ヲ用フレハ雙方共ニ善

ニ進ミ報復ヲ行ハハ雙方共ニ其品性ヲ損ヒ一

ハ際限ナキノ亂ヲ醸シ一ハ只善ヲ行フノ故ノ

ミニシテ直ニ世間ニ人ヲ害スルノ源行ナカラ

シムヘシ

然レ此帝我ニ對シテ罪ヲ犯スルニナラス亦社
中ニ對シテ罪ヲ犯ス者ハ相當ノ為方ヲ以テ之
ヲ罰シテ可トリ若シ人我家ニ入テ物ヲ奪フキ
ハ之ヲ執ヘテ入牢セシム可シ否ラザレハ賊ヲ
行フテ生涯止マシテ其人ト世人トノ最モ大
イナル不幸ナルヘシ人ハ我ニ害ヲ如ヘタルヲ
寛恕シテ之ヲ教化スルハ善シト雖モ其惡ヲ制
止スルノ為方ヲ用フルモ亦其人ト世人ト一對
シテ止ムヲ得サル職務ナリ
社中ハ此ノ如キ惡人ヲシテ其惡ヲ改メシムル

ノ職務アルモノト思ヒ罪人ヲ遇スルニ慈愛ヲ
以テシテ衣食ノ不足ナカラシメ方便ヲ盡シテ
之ヲ善ニ導クヘシ此ノ如キルハ獄ヲ設ケタル
ハ恰モ修身ノ學校ヲ建タルカ如クニシテ惡人
及ヒ社中ノ最モ大イナル幸福ナラン
古昔少年ハ罪ヲ犯セシ者ヲシテ身ヲ匿サシム
ルノ處ヲ設ケ大イニ社中ノ幸福トナリ數百人
ノ少年ヲ救ヒシテアリ今日ノ獄モ之ト同様ノ
方ヲ用フヘシ然ルガハ亦同様ノ効アラシム

華三章

畜類ニ對シテノ職務ヲ論ス

畜類ノ感覺アルナ猶人ノゴトクニシテ其苦樂ヲ覺ユルノ度ニ於テハ異ナルヲ無カル可シ其最モ人ニ異ナル所ハ脩身ノ能力無クシテ是非ヲ別ツテ能ハサルニ在ルノミ
然レモ畜類ハ人ト同等ノ者ニ非ラス故ニ人ニ對シテ相互ノ權アリト稱スルヲ能ハスシテ人其樂ヲ減シ或ハ必要ニ因リ又便利ノ為メニ其生命ヲ取テ己ノ樂ヲ達スルノ自由アリ天畜類ヲ以テ人ノ食物ト為レ人ニ之ヲ生殺スルノ權

柄ノ與ハリ然レモ天ノ許シタル目的若クハ方法ノ外ニ此權柄ヲ用フルノ權ナレ

第一 必要ノ片ハ殺シテ食物トスルモ妨ナシ人牛ヲ食ハント欲スレハ之ヲ殺シテ可ナリ然レモ殺レニ之ヲ殺スノ權ナシ又肉ヲ取テ食ト為シ或ハ皮ヲ獲テ衣ト為サント欲スル牛ハ野ニ獵シテ鹿若クハ野牛ヲ射ルハ妨ナレト雖モ射藝ニ熟センカ為メニ之ヲ射ルノ權ナシ故ニ鳥ヲ食ハシカ為メニ之ヲ射ルハ是ナリト雖モ死戲レニ之ヲ射ルハカラス入置ニ一時ノ勸樂

ノ為メニ畜類ヲシテ生活ノ幸福ヲ失ハシムヘ
ケンマ
弟二 又之ヲ勞動ニ用フルモ妨ナレ譬ハハ馬
ヲシテ物ヲ牽カレメ或ハ之ニ乗ルカ如キ即是
ンナリ
弟三 此ノ如ク勞動ニ用フルモ之ヲ憐テ無用
ノ勞苦ヲ受ケレムヘカラス若シ人命ヲ救ヒ緊
要ノ事件ヲ行ハンカ為メ止ムコトヲ得サレハ非
常ニ之ヲ驅使スルノ自由アレバ己ノ歡樂或ハ
賭博ノ為メニ之ヲ行フノ權ナシ

第四 是ヲ以テ競馬闘鷄等ノ如ク畜類ヲ苦マ
シメテ歡樂ニ充ルハ純粹ノ惡事ニシテ天ノ人
ニ與ハタル畜類ヲ生殺スルノ權柄ハ此ノ如キ
目的ノ為メニ非ラス畜類ノ互ヒニ相害スルヲ
觀シカ為メニ知識ナル人類ノ集リタルカ如キ
見ルニ忍ビサルモノ無ク人心ヲシテ殘忍ナラ
シムルコト畜類ノ兇暴ヲ觀ルヨリ甚カシキモノ
ナシ

市川清流 校

脩身論大尾

育身論

修身論

天

文部省
師範學校

發行書籍翻刻處

總而小學校用書籍我國語教科書此國語教科書係
本國語教科書教科書係古語教科書係不編書係
國語教科書係教科書係教科書係教科書係教科書係

庚辰年

中島德兵衛

東京市大田區八木區南車町
河内屋

書肆